

自主防災組織を対象に大雨や土砂災害を想定した防災訓練を実施します

令和3年度北海道防災総合訓練の一環として、留萌管内各市町村で訓練が行われます。

羽幌町では、市街地区にある3つの自主防災組織を対象に避難行動訓練、避難所運営訓練を実施します。

当日、対象地域周辺にて広報車で訓練の呼びかけを行います。

災害等とお間違えのないよう注意をお願いします。

日 時 5月25日(火) 午前9時30分～正午

※ 地震発生や気象警報の発表等により、中止する場合があります

避難先 羽幌町中央公民館

対象地域 緑町第1町内会、第5町内会、第36町内会

- 訓練内容
- ・ 対象地域への避難情報の伝達
 - ・ 災害発生を想定した住民の避難行動
 - ・ 感染症対策を考慮した避難所の開設、避難者受入れ
 - ・ 防災資機材の活用体験



※ 自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域の住民同士が災害による被害を予防し、軽減するための防災活動を行う組織の事です。現在は、上記対象3つの町内会が組織を立ち上げています。

大規模災害が発生した場合、各地でさまざまな被害が予測され、交通障害など悪条件が重なることで防災関係機関の機能は大きく低下します。このようなとき、被害を防止・軽減させるため、地域の住民同士で防災活動を行うことが大変重要です。

皆さんの地域でも、まずは「防災」について話し合いをお願いします。

☞お問い合わせ先 総務課総務係 ☎ 62-1211

～ 家庭での防災対策 ライフラインの停止や避難への備えはできていますか？ ～

大規模な災害が発生したときには、電気や水道、通信などのライフラインが止まる可能性があります。そのような事態でも自力で生活できるよう、普段から非常食や防災資機材を備蓄しておくことが大切です。

また、災害発生時は、新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、危険な場所にいる人は避難することが原則です。自宅が危険な場合は、避難所だけでなく安全な親せきや知人宅に避難することも考えておきましょう。

避難生活が必要になったときに非常食などをすぐに持ち出せるよう、リュックサックなどにまとめておきましょう。

○ 「最低3日分、できれば1週間分」の備蓄や非常持出品を準備しておきましょう

(非常持出品の例)

- ・ 飲料水 ひとり1日3リットルが目安
- ・ 非常食 ごはん(アルファ米などひとり5食分)、カップ麺、ビスケット、乾パンなど
- ・ 貴重品 現金、健康保険証など
- ・ 救急用品 ばんそうこう、常備薬など
- ・ 懐中電灯、衣類、下着、毛布、タオル、モバイルバッテリー

※ 乳児のいる家庭は、ミルクや紙おむつ、哺乳瓶なども用意しておきましょう

○ 感染症対策に必要な衛生用品も忘れずに備蓄しておきましょう

- ・ マスク
- ・ ハンドソープ、せっけん
- ・ 手指消毒用アルコール
- ・ ウェットティッシュ
- ・ 体温計

